

LA インター

4、留学生

留学生として、日本から一人でやって来て、寮やホームステイで生活し、本校で学んでいる生徒達があります。

「英語を身につけたい」「アメリカの大学へ進学したい」「高校はアメリカで、大学は日本」「日本の教育とは異なった教育を受けさせたい」という、子ども自身や保護者の希望での留学生活です。

ほとんどの留学生は、寮で共同生活をしています。その生活は決して楽しいだけのものではありません。寮監の先生の指導の下、自宅では許された両親へのわがままな態度は通用しませんし、規律正しい生活態度と学習が要求されます。寮生同士の人間関係やホームシックで辛いときもあります。冬休みや春休みなどの長期休暇で日本の自宅へ帰った折、その厳しい生活や子どもの思いを聞いたお母さんが「それじゃあ、もう行くのやめたらといっても、『僕、また行って頑張る』と、しっかりした子どもになってきました」などと語られるのをよく聞きます。留学生活で多くのものを学んでいる証拠です。

本校の事務所へは、「日本の教育には魅力がない」「国際的な人物になって欲しい」などの、日本国内でのブームになっている留学の問い合わせが、増えてきています。

3、長期滞在・永住の子ども

子どもの教育を長期的に考え、日本語と英語のバイリンガル、バイカルチャーに育てたいと望む、アメリカに永住予定や10年を超えて滞在している長期滞在者である保護者が、子どもをLAインターで学ばせています。

外国での生活の厳しさを身をもって体験した永住・長期滞在の親が、「将来、子どもが日米どこでも生活できるように育ててやりたい」「子どもが、アメリカで生き抜くため、日本語は大きな武器になる」「自分と同じように、日本の言葉や文化を身につけて欲しい」と願うのは、良く理解できます。

その親の気持ちが、子どもをLAインターに入学させます。子ども達は、通学したり、寮に入ったりして生活しながら、バイリンガル教育を受け、日本やアメリカの大学へ進学していきます。

☆ LA インターの特徴 ☆

「LA インター」は、次のような特徴を持った、非常にユニークな学校です。

- 1、日英バイリンガル・バイカルチャー教育
- 2、私立の正規現地校（Accreditation 取得）
- 3、カレッジ・プレップ・スクール
- 4、完全単位制の4年制ハイスクール
- 5、日米の教育の長所を生かすカリキュラム
- 6、日米の大学に進学
- 7、ロサンゼルス郊外の学校
- 8、充実した生徒寮
- 9、留学ビザの取得可能

☆☆☆

以上のお話で、LA インターでは様々な子ども達が学んでいるのがお分かりいただけたと思います。しかし、すべての生徒の目標は、バランスの取れたバイリンガル教育です。

さらに、バックグラウンドの異なる子ども達が共に学ぶことで、他者を理解し思いやり、そして共に生きる「異文化理解」の教育の場でもあるのです。

それがロサンゼルス・インターナショナル・スクールの教育目標です。

ロサンゼルス・インターナショナル・スクール

Los Angeles International School

23800 Hawthorne Blvd., Torrance, CA 90505, U.S.A.

Tel (+1)310-373-0420, FAX (+1)310-373-0670

E-mail: info@LA-Inter.org, HP: www.LA-INTER.org



学校は、先生と教科書だけではありません。生徒集団の構成によって、教育の中身は大きく異なります。

ここで紹介されている「多様性に富んだ生徒集団」の教育は、日本の教育が目指す「共生」にもつながります。日本の学校教育の実験校と捉えることも可能です。どちらにしてもユニークな学校です。